

## 1 調査の概要

- (1) 調査実施日  
令和7年4月14日(月)～17日(木)
- (2) 調査対象  
小学校 第6学年  
中学校 第3学年
- (3) 調査学校数及び児童生徒数  
学校数 20校 児童数 1,932名  
学校数 8校 生徒数 1,445名

## (4) 調査内容

- ① 教科に関する調査  
小学校 【国語】 【算数】 【理科】  
中学校 【国語】 【数学】 【理科(IRT\*スコア表示)】
- ② 生活習慣や学習環境に関する質問調査  
児童生徒に対する調査 学校に対する調査

### ※IRT(項目反応理論)

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。異なる問題から構成される試験・調査の結果、同じものさして比較できる。尺度上の位置を表す数値であるため、単位はない。

## 2 調布市教育プラン(令和5年度～令和8年度)との関連

### (1) 施策及び主な取組

- 施 策2【確かな学力の育成】<主要事業 5 基礎的知識・技能、学習満足度の向上、学ぶ意欲の育成>  
主な取組 ○ 少人数・習熟度別指導による個に応じた指導の充実を通じた確かな学力の育成  
○ 一人1台端末の効果的な活用に向けたICT環境の計画的な整備・活用
- 施 策5【魅力ある学校づくりの推進】<主要事業 18 教職員の指導力・人権意識の向上>  
主な取組 ○ 学習指導要領に対応した「授業改善推進プラン」に基づく取組の推進

### (2) 成果指標

全国学力・学習状況調査(国語,算数・数学)における東京都の平均正答率を上回った各科目の合計ポイント数	校種	R8目標値	R6	R7
	小学校	7pt	3pt	3pt
	中学校	7pt	7pt	8pt
「主体的・対話的に学習活動に取り組んだ」と考えた児童生徒の割合	校種	R8目標値	R6	R7
	小学校	90.0%	78.5%	78.3%
	中学校	90.0%	81.9%	79.2%

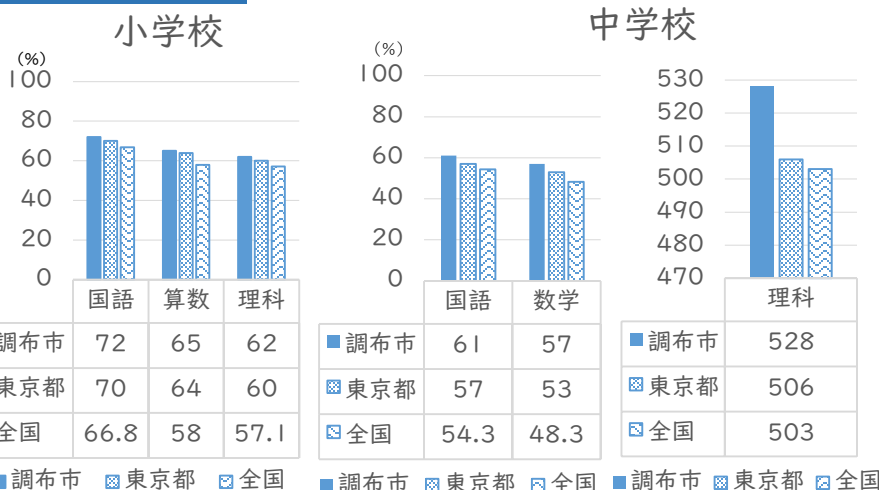
### (3) 教育委員会の取組

- 「カリキュラム・マネジメント」の実現、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進  
・教科等横断的な視点に立った校内研究及び研修の推進  
・一人1台端末の効果的な活用  
・学習指導要領の着実な実施  
・授業改善に向けた校内研究及び研究推進校等の成果の普及

## 3 調査結果概況

### 平均正答率・平均IRTスコア(中学校理科)

### 国及び東京都と比べて正答率の差が大きかった内容



### 調布市の傾向

- ・国語、算数・数学、理科(小学校)共に、平均正答率は全国及び東京都を上回っている。
- ・理科(中学校)の平均IRTスコアは、全国及び東京都を上回っている。

小学校	内容	出題の趣旨	市	都	国
国語	書くこと 思考・判断・表現	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	67.2%	62.1%	61.3%
	読むこと 思考・判断・表現	事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる	59.1%	56.2%	51.3%
算数	データの活用 知識・技能	簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかどうかをみる	80.5%	76.6%	71.6%
	数と計算、測定、変化と関係、データの活用 思考・判断・表現	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	60.0%	55.5%	48.7%
理科	エネルギー 知識・技能	電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかをみる	85.3%	80.6%	78.0%
	生命 思考・判断・表現	発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる	70.1%	66.0%	62.0%
中学校	内容	出題の趣旨	市	都	国
国語	言葉の特徴や使い方の知識・技能	事象や行為を表す言葉について理解しているかどうかをみる	71.0%	62.8%	61.0%
	書くこと 思考・判断・表現	読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる	67.1%	60.4%	57.3%
数学	数と式 思考・判断・表現	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	60.0%	52.5%	45.2%
	図形 思考・判断・表現	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる	50.5%	44.0%	36.3%
理科	粒子 思考・判断・表現	化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる	45.9%	38.1%	35.6%
	生命 思考・判断・表現	小腸の毛毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるかどうかをみる	44.9%	36.0%	34.8%

## 4 教科に関する調査から分かったこと

▲ 正答率の低い問題 □ 課題 ◆ 指導改善のポイント

### 小学校 国語

	平均 正答率 (%)	言語 (%)	情報 (%)	言語文化 (%)	話すこと 聞くこと (%)	書くこと (%)	読むこと (%)
調布市	72.0	78.6	68.9	84.7	71.5	74.5	63.2
東京都	70.0	77.9	66.9	83.8	69.9	72.4	61.0
全国	66.8	76.9	63.1	81.2	66.3	69.5	57.5

- ▲ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(読むこと)]
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題がある。
- ◆ 目的に応じて必要な情報かどうかを確かめたり、情報と情報がどのような関係にあるのかを考えたりしながら読むことができるように指導する。

### 小学校 算数

	平均 正答率 (%)	数と計算 (%)	図形 (%)	測定 (%)	変化と 関係 (%)	データの 活用 (%)
調布市	65.0	69.8	62.1	63.5	67.2	71.4
東京都	64.0	68.3	61.2	60.5	64.9	67.6
全国	58.0	62.3	56.2	54.8	57.5	62.6

- ▲ 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(数と計算)]
- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを記述することに課題がある。
- ◆ 分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見出すことで、既習の整数の加法に帰着できるように指導する。

### 小学校 理科

	平均 正答率 (%)	エネルギー (%)	粒子 (%)	生命 (%)	地球 (%)
調布市	62.0	51.7	56.3	56.6	72.0
東京都	60.0	49.9	53.7	54.1	69.1
全国	57.1	46.7	51.4	52.0	66.7

- ▲ レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(生命)]
- レタスの種子の発芽の条件について、既習の植物の発芽の条件との差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することに課題がある。
- ◆ 自然の事物・現象に働きかけて得た事実に基づいて、問題を見出すことができるようにするため、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるように指導する。

### 中学校 国語

	平均 正答率 (%)	言語 (%)	話すこと 聞くこと (%)	書くこと (%)	読むこと (%)
調布市	61.0	57.1	58.4	59.7	67.8
東京都	57.0	51.7	55.0	56.5	65.0
全国	54.3	48.1	53.2	52.8	62.3

- ▲ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(読むこと)]
- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。
- ◆ 文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることができるように指導する。

### 中学校 数学

	平均 正答率 (%)	数と式 (%)	図形 (%)	関数 (%)	データの 活用 (%)
調布市	57.0	54.1	56.6	55.9	65.5
東京都	53.0	49.1	51.4	52.4	63.1
全国	48.3	43.5	46.5	48.2	58.6

- ▲ 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(数と式)]
- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。
- ◆ 連続する二つの3の倍数の和が奇数になることを読み取れるようにするなど、文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導する。

### 中学校 理科

	平均正答数 【6問中】 (問)	平均IRT スコア
調布市	3.1	528
東京都	2.9	506
全国	2.9	503

- ▲ 大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる問題[思考・判断・表現(地球)]
- ボーリング調査の結果と関連付けて、地層の広がりを検討して表現することに課題がある。
- ◆ 地層の広がり方や傾きを空間的な視点で捉える場面を設定し、ボーリング調査の結果から、科学的な根拠を基に地層の広がりを検討して表現できるように指導する。

## 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	29.7	79.0	75.0	68.8	26.7	67.2	68.9	574
2 どちらかといえば、当てはまる	50.8	71.7	64.7	62.4	53.9	60.5	57.5	525
3 どちらかといえば、当てはまらない	16.8	62.4	54.1	53.8	16.2	54.0	44.9	478
4 当てはまらない	2.6	56.5	48.9	47.1	2.4	50.0	34.7	456
無回答	0.1				0.8			

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	30.3	78.5	74.6	68.6	23.1	65.4	65.6	552
2 どちらかといえば、当てはまる	47.7	71.3	63.5	61.1	52.7	61.3	58.8	537
3 どちらかといえば、当てはまらない	19.3	64.8	58.3	57.9	20.5	56.8	49.6	493
4 当てはまらない	2.5	59.5	51.8	49.2	2.8	51.3	44.2	450
無回答	0.1				0.9			

学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	41.6	76.7	70.2	66.4	39.0	63.7	63.3	548
2 どちらかといえば、当てはまる	43.3	70.2	64.0	61.5	48.7	60.2	56.2	523
3 どちらかといえば、当てはまらない	11.2	65.8	58.5	55.7	8.3	56.4	50.8	496
4 当てはまらない	3.1	59.7	55.8	51.2	2.4	53.0	42.2	464
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	0.7	52.4	45.2	50.2	0.5	39.3	23.3	404
無回答	0.1				1.0			

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	29.1	78.0	73.4	67.9	25.1	64.9	65.6	556
2 どちらかといえば、当てはまる	48.3	71.4	64.7	62.3	51.5	60.9	58.4	531
3 どちらかといえば、当てはまらない	18.3	67.2	59.1	57.3	19.1	58.2	50.3	499
4 当てはまらない	4.2	57.7	49.9	50.9	3.2	49.8	39.5	449
無回答	0.1				1.1			

## 【児童生徒質問と教科の平均正答率のクロス分析】

○ 以下と回答している児童生徒の方が、教科の正答率・IRTスコアが高い傾向が見られる。

- ・ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ・ 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- ・ 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていた。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていた。

## 2 ICTを活用した学習状況

授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)	20.9	74.4	67.6	63.1	25.5	62.4	58.4	536
2 ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)	28.4	72.1	66.4	62.8	33.7	61.9	60.5	538
3 週3回以上	26.9	72.5	67.1	64.3	28.0	59.6	56.4	520
4 週1回以上	15.7	73.6	65.5	63.9	9.7	59.3	55.5	509
5 月1回以上	5.5	64.4	55.7	54.6	1.6	58.8	51.4	516
6 月1回未満	2.7	51.7	46.3	44.4	1.0	47.4	37.2	459
無回答	0.0				0.5			

## 【児童生徒質問と学力のクロス分析】

○ 授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用してたと回答している児童生徒ほど、教科の平均正答率・IRTスコアが高い傾向が見られる。

## 3 学習習慣、学習環境等

授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	30.6	76.4	71.6	66.5	21.5	64.5	63.9	565
2 どちらかといえば、当てはまる	49.4	70.6	63.7	61.3	57.3	60.8	58.1	524
3 どちらかといえば、当てはまらない	15.1	69.3	61.4	60.0	17.7	58.9	52.6	508
4 当てはまらない	4.7	65.2	59.7	56.2	2.8	51.4	44.3	471
無回答	0.1				0.6			

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。	小学校				中学校			
	児童数の割合(%)	平均正答率(%)			生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		平均IRTスコア
		国語(14問)	算数(16問)	理科(17問)		国語(15問)	数学(16問)	
1 当てはまる	45.5	74.6	69.0	65.1	46.5	63.3	61.1	545
2 どちらかといえば、当てはまる	44.5	71.0	63.8	61.1	46.8	59.7	56.6	519
3 どちらかといえば、当てはまらない	7.8	67.4	61.4	60.6	4.4	54.6	47.5	490
4 当てはまらない	2.0	52.6	45.8	42.3	1.5	50.8	35.4	444
無回答	0.1				0.9			

## 【児童生徒質問と学力のクロス分析】

○ 以下と回答している児童生徒の方が、教科の正答率・IRTスコアが高い傾向が見られる。

- ・ 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいた。